

おおしろ よしひろ 大城好弘 議員

和4年度で3億8千万円で、計画の範囲内である。

総務部長 職員の人事情形については、三役含め職員数246名で4人増員となっている。新規事業坂田こども園は令和5年から移行するに向け保護者、自治会会長、住民説明会を実施している。

坂田こども園の移行について

問 平成27年度学校教育法等関係する法律が改正され、小中学校一貫した義務教育9年制が制度化された。同時期に幼稚園は幼保一元化として認定こども園が法制度化されてきた。現行の幼稚園が半日のため、保護者対応が難しく長年の懸案事項として議論され、その解消のため、こども園への移行

が行われる。坂田こども園移行の問題点、職員の人事、事業内容、法人と本町業務締結について聞く

工業用地の代替地は

問 国道329号線、西原中城バイパスの杭打説明会が12月に実施された。国道バイパスの事業年度、総事業費、今後の進捗、移転伴う代替地の確保について聞く。

建設部長 事業年度については未定、総事業費140億円、令和5年度調査業務、用地買収を行う、工業用地拡大予定の調査区域の面積は約18・4haであり、県土地開発公社と連携を図りながら検討していきたい。



坂田こども園

内閣御殿の復元進捗が遅くスピードアップは可能か。

問 内閣御殿に関しては2011年には国指定史跡となるが復元時間がかかる背景は何か。



おおた みおる 大田実 議員

ことは可能か問う。

教育部長 経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童の保護者に対しての給食費は、就学援助により他町村より手厚く対応し、第3子から無料化は厳しい

仮ナンバー貸し出し制度を設けることは可能か。

問 車検切れ等の車両を一時的に公道が走行できる貸し出し制度は、導入可能か。

町長 臨時運航許可申請を行う場合地方自治法第2条第9項第1号の法定受託事務として、申請に基づき、国土交通大臣が指定するということになっている。西原町関係者利用実績を把握するのに、時間を要することから実施には至らない。

兼久349番地辺りからコープおきなわ向け道路整備について問う。



国道329号線から兼久349番地、そしてコープおきなわに抜ける道路整備について

値上げするの？水道料金

問 物価高騰や本町は、下水道使用料、国保税が上がる。さらに電気料金の値上げ。町民の負担が増すがどう考えるか。

上下水道課長 沖縄県企業局は、電気料金の値上げに注視し、検討を進めると聞いている。町の水道料金等についても10年スパンの収支計画を立てながら検討していく。

問 地権者はもちろん、これまで本町の発展に貢献してこられた企業を他所に出してしまわないよう双方の合意形成が必要と考えるが。

町長 これまでの調整の中でも、移転先がなければ出ていくとの話もあった。基本的な考えは、町内の優良企業をしっかりと守っていくという姿勢で、これまで取組んでおり、今後その考えで進めていく。



まえしろ 真栄城哲 議員

全国平均を大きく超えてくる予測

問 本町は現在平均年齢が比較的若い町。しかし近い将来爆発的に高齢化が進む試算がある。それも踏まえ扶助費のシミュレーションを行っているのか。

問 ふるさと納税の寄付額が南風原町、中城村、北中城村は、1億円後半から2億円の寄付額である。本町と何が違うのか。

企画財政課長 目を引く返礼品が乏しい。またPRが足りないところがある。引き続き分析をしていく。

問 国道側も計画がスタートした時期で今が一番肝心。要望や問題個所はないのか。

都市整備課長 現在、問題の探り出しの最中であり、今後どんどん出てくる

国道329号西原BP沿線整備は？

問 国道側も計画がスタートした時期で今が一番肝心。要望や問題個所はないのか。

都市整備課長 現在、問題の探り出しの最中であり、今後どんどん出てくる



一般質問

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。



みやざと ひろふみ
宮里 洋史 議員

■災害時の備えを
問 防災について、災害時避難行動要支援者名簿を希望制で57人登録しているというが、希望制でいいのか。全体を把握すべきと思うが。

福祉課長 取組むべき状況として、名簿のほうは、なるべく早期に整備を図る必要があると課内でも検討している。

8020運動強化へ

問 子供の虫歯を減らす施策について。以前より学校でのフッ化物洗口の導入を強く要望しており、現在では希釈されたものやポーシオンタイプも出て、ハードルは下がったように感じている。しかし、就学前からも必要ではないかとの指摘もある。確かに4歳

児から始めるのと6歳児から始めるのでは、予防効果に差が出た。また、早い時期から習慣化する必要も感じた。沖縄県も西原町も既に取組んでいる8020運動について。健康寿命を伸ばしてという大きな目標があった、歯が強ければ歯医者に通うことが少なくなる。そうすると財政効果も生まれると思う。大人になってもしっかりと歯を残すためには、小さい時からの取組みが必要だというのは皆分かっている。保育園は14園のうち2園やっている。沖縄県でも210か所。それでも足りない状況だと思う。学校ばかりで言っではいけない状況で、町としても、何らかの働きかけをして推進していくことはできないか。県はそもそも条例の中で推進しているが。

町長 健康寿命を延ばすという意味で、歯をしっかりとっていくことは、当然だろうと思う。その中で課題があるということもある。その辺りを整理し、町の方針を出すべきというふうに考えている。

8020



問 情報公開制度の改正で開示請求が出来なくなる根拠を聞く。

福祉部長 主に個々の事案に対し、法の範囲を超えるものとなり、許容されないこととなることと、ファイル簿の作成公表になる。

問 情報公開制度の改正で開示請求が出来なくなる根拠を聞く。

その他の質問
○自治会事務所の必要性について

- 認可地縁団体の役割について
- 自治会の共有名義の名義変更はどのように行われるのか
- 政府の通達等による自治会に関する情報の共有について
- 民生委員児童委員協議会の予算配分について
- 消防、防災体制等の確立について
- 農地下限面積撤廃に伴う農業従事者の確保について
- 内閣御殿を含む城ロードの整備計画について
- 公共施設の維持管理及び使用料(屋外バスケットボール等)について



沖縄都市モノレール線 終点・ただこ浦西駅

■施政方針について聞く

問 施政方針にモノレールの延伸について触れていないことの真意を問う。

町長 都市モノレールの延伸の掲載については、大型MICE施設整備事業の進捗を見据えながら、西原町マスタープランの改定を含め、掲載を検討していきたい。

問 本町出身の偉人、平良幸一先生や金秀グループ創業者呉屋秀信先生の痕跡を広く町民に知ってもらう為に、何らかの形で伝える方法を行う必要があると思うが見解を聞く。

町長 西原町名誉町民を広く知らしめる機会として、いい提案だと思うので、広報紙、ホームページを活用して、周知を検討していきたい。

問 町道面積における取得率と対策について。

建設部長 町道は258路線あり、取得率については把握されていないが、未買収用地対策として、新たな道路整備事業等の事業化がされた場合、道路内私有地の購入をしていきたい。



あら た そうしん
新田 宗信 議員

会)で検討が続けられ、現時点で定期接種の予定はない。

■高齢者の加齢性難聴者補聴器購入補助

問 施政方針から高齢者の加齢性難聴者補聴器購入補助について、周知方法と申請上限額、人数は。

町長 高齢者の加齢性難聴者補聴器購入補助について周知方法は、ホームページ令和5年4月に掲載、広報掲載は5月号予定。申請は、令和5年6月1日以降を予定、先着順の受付となる。申請は役場窓口に来庁し、対象要件を確認した後に受付を行う手順を想定、補聴器購入への助成額は1人当たり2万5,000円の上限額を予定。

■保育ママ

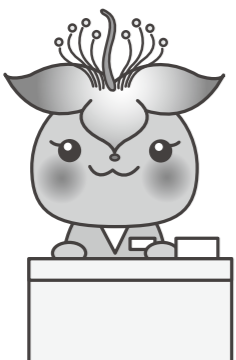
問 待機児童解消に保育ママを活用は。

福祉部長 保育ママは、制度的に待機児童の解消に資することができ、本町は待機児童解消のため認可保育園の整備を主に進めている。現在の課題は保育士不足であり、新たな受け皿は今のところ考えていない。保育ママではなく、保育士不足の解消を優先的に取組む。

■自治体DX

問 自治体DXの取組み「書かない窓口」

総務部長 窓口DXの取組みは、今年度から導入に向け検討。システムの機能イメージは、役場に来庁した際、必要な手続や手順を示してくれるナビ



その他の質問
○新型コロナウイルス感染症について
○町民相談から

一般質問

問 町長の施政方針からおたふく風邪予防接種について対象年齢、1回接種か2回接種か、定期接種か問う。

■おたふくかぜワクチン補助

町長 町長の施政方針からおたふく風邪予防接種について対象年齢、1回接種か2回接種か、定期接種か問う。

町長 おたふく風邪予防接種は令和5年度から助成、対象年齢が1歳児で1回接種となる。定期接種化は、厚生科学審議会(予防接種・ワクチン分科



なが はま ひろみ
長浜 ひろみ 議員

●この一般質問の内容は、会議録(反訳文)に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、本委員会が最終確認・編集をしたものです。
●各議員氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。